

武漢熱線

大分市武漢事務所スタッフ
賈 芳

Wu-han Hot Line

武漢市の食品加工業と観光産業について

「南に光谷あり、北には緑谷あり」

これは、武漢市中心部を流れる長江から見て、南北に位置する産業エリアを表す言葉です。

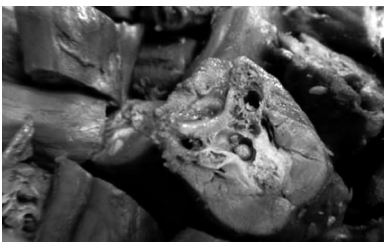
光谷とは、武漢市のほぼ中央に位置し、光通信産業を主力とするハイテク産業の一大中心地であり、武漢東湖新技術開発区（武漢ハイテク区）の中に設けられています。

一方、緑谷は武漢市北東部に位置する農業やエコロジー関連産業などの集積地で、「武湖」と呼ばれる地区を指します。同地区の東部は花き栽培拠点、西部は食品加工工場があり、それぞれの特色を活かした産業があります。

今回は、この武湖についてご紹介いたします。

・武湖の食品加工産業

武湖には、武漢市内のスーパーでも販売されているブランド野菜の生産拠点があり、主にミニきゅうり、唐辛子、トマトなど多くの野菜が栽培されています。



鴨脖 (アヒルの首の煮物)

これに伴い、食品加工工場も数多くあります。漢口精武公司の鴨脖（アヒルの首の煮物）や惠爾康食品公司の穀物飲料（トウモロコシ、小豆、緑豆等のジュース）、仝吉食品公司のケーキやお菓子など、武漢市民にお馴染みの食品の多くがここで生産



店頭に並ぶ武漢九州乳業の製品

されています。

また、大分市の企業である九州乳業(株)が武漢市企業との合作により設立した「武漢九州乳業有限公司」もあり、大分の人がよく知ったロゴが付いた製品が日々製造されています。同社は、武漢市で初めての高品質

な乳製品製造企業であり、市民に健康的かつ安全な乳製品を提供することを目的として設立されました。主に牛乳、ヨーグルト、プリンを製造しています。工場に隣接する形で3千頭の乳牛が飼育されており、九州乳業(株)の生産基準に基づき、1日当たり48トンの乳製品を製造しています。

このように、武湖は野菜等の栽培から食品加工、販売まで、生産・加工・流通の形態が整った地区です。

・武湖の観光産業

武湖は多くの花が咲き誇る場所でもあります。

武湖の東側では、広大な敷地を使って花き栽培が盛んに行われており、主に胡蝶蘭、カトレア、シクラメン、ポインセチアなどが栽培されています。

一度に5千本を育苗でき、年間2億本を生産することができる華中地区最大の育苗生産工場や、最先端技術を使って数多くの新たな品種を作っている工場があり、これらを観光資源としても活用しています。

また、見るだけでなく、農業体験のできる施設もあり、ここは「2010年度最も歓迎された省内ツアー目的地」等にも選ばれていま



花の栽培風景

す。年間観光客は40万人、観光収入は1億円を超えており、武漢市郊外のレジャー施設では最も成功しています。

さらに、現在、魚の養殖場と釣りができるレジャー施設を合わせた新たな観光スポットも建設されており、今後、武湖の観光産業はますます多様化していくと思われます。

武漢市でのビジネスに興味をお持ちの方は、大分市HPをご覧ください。

URL <http://www.city.oita.oita.jp>

トップページ»仕事・事業者»企業支援»グローバルな拡大を続ける武漢市とのビジネスルート 友好都市間交流ビジネスチャンス創出事業